

## 広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

### 招 集

令和5年1月18日（水）午後1時 議会第1会議室

### 出席委員（8名）

（委員長）西 野 太 一 （副委員長）伊 藤 ひろえ  
岩 崎 康 朗 門 脇 一 男 錦 織 陽 子 森 田 悟 史  
矢田貝 香 織 吉 岡 古 都

### 欠席委員（0名）

### 出席した事務局職員

松下局長 田村次長 長谷川議事調査担当係長

### 傍 聴 者

報道関係者0人 一般0人

### 協議事件

- 1 市議会だよりについて
- 2 その他

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○西野委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

初めに、議会だよりについて協議いたします。

まず、市議会だよりの72号の表紙の選定について、事務局からの説明を求めます。

○長谷川議事調査担当係長 説明させていただきます。

資料1を御覧ください。市議会だより72号、令和5年3月1日発行のものになります。表紙写真募集しましたところ、5点、応募がございました。ちなみに1から4までが同じ方ということですので、5作品ありますけども、お二方応募で、5点ということになります。説明は以上になります。

○西野委員長 ここで写真を決めてしまうということですか。

○伊藤委員 はい。

○西野委員長 これ、多数決でよろしいでしょうか。

そこに行くまでにちょっと。

○松下事務局長 その決め方はおまかせしますが、まずは、皆様方の御意見をお聞きになってはいかがでしょうか。

○西野委員長 では、この5枚の写真について、皆様の御意見、よろしくお願います。錦織委員。

○錦織委員 どの写真もいいなと思ったんですけど、ただ、3月1日発行っていうことをね、寒いっていつきなので、ですよね、時節はね。それで、4だと何かほっこり、ちょっと春が待ち遠しいという感じで、4の何か少し暖かさを感じるような色合いがいいかなって私的には思いました。

○西野委員長 ほかに御意見はありませんか。

岩崎委員。

○岩崎委員 前回の感想ですが、3枚の写真を重ねてっていうのは結構よかったですよね、僕の中では。ありだな、こういうのと実は思いました。それはそれとして意見としてなんですが、基本的には、大山町なんかもそうなんですけど、松江市もそうなんですけど、人、人物をやっぱり撮ってるんですよ、人物の動き、人の動き。これは、やっぱりそこは欲しいなっていうのはありました、意見として、すみません。だから、ちょっと今回は人物がないので、風景なので、ううん、どうかなとちょっと実は思っております。

○西野委員長 ほかに御意見はございますか。

伊藤委員。

○伊藤委員 私も岩崎委員と大体同じような意見なんですけど、やっぱり人物があって、表情があるというものが引きつける、魅力があるなというふうに思います。でも、そうはいっても、写真がこういうふうに応募されていて、どれもいい写真だなと私は思いましたので、やっぱり前回のように、少し何かそういうふうに、何かレイアウトできればなと思います。何枚って今、何かはっきりと言いませんけれども、レイアウトしてみたらどうかなというふうに思ってます。前回、やっぱり目新しくって、ちょっと人目を引いたなと思いますんで。以上です。

○西野委員長 ほかに御意見はございませんか。

森田委員。

○森田委員 当局に聞きたいことがあるんですけど、こういう例えば動きのある人物が写ってる写真とかを使われてる自治体さんとかって、これも公募で来てるのか、決め打ちでこういう画で載せたいからって言って自治体職員さんが撮ったりとかっていうパターンなのか、どっちなんだろうっていうのがちょっと気になったんですけど、もし分かればお聞きしたいなと思います。

○西野委員長 長谷川さん。

○長谷川議事調査担当係長 ちょっとまだそこまでは確認できておりません。また確認しておきます。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 大山にお伺いに行ったときに、こういう写真は広報さんが撮られるんですかって言ったら、議員がいつもカメラを持っていて、いつも何かいいショットを撮ろうとしてみんな一生懸命ですよというふうに言ってくださいました。大山は少なくとも議員が撮っているっていう感じです。

○西野委員長 頑張ってください。(笑声)

○森田委員 そういうことですね。分かりました。ありがとうございます。

○西野委員長 ほかに御意見はございませんか。

吉岡委員。

○吉岡委員 前、当局のほうから御説明あったと思うんですけど、何かあんまり切り取るのは、公募された写真を切り取るのはよくないって言われて、確かに私も少し写真をかじってるので、これを三角に切り取ったりすると、全体の構図で多分こうしておられるから、送っていただいた写真をレイアウトするのはどうなのかなっていう気持ちがちょっとあつ

て、テーマを決めればいろんなことができるかなと思うんですけど、何か淀江の写真がないので、2番の淀江とかがたまにあってもいいと思います。

○西野委員長 ああ、そうですね。

ほかに御意見はございませんか。

今、意見がある程度出たんですが、まず、人の動き、こちら、どうしましょう。まず、この写真、5枚には人は載ってませんが、あと締切り、いつまででしたっけ。

○長谷川議事調査担当係長 来週末ぐらいまでに。

○西野委員長 1週間ではできないことはない。

○門脇委員 取りあえずこれで決めてからということか。

○矢田貝委員 今回はね。

○西野委員長 今回はこれで。

○門脇委員 それとも、やっぱり駄目なので、撮りに行きましょうなのか。

○西野委員長 じゃあ、まずは、今回、人の動きを含めた写真を採用するのか。まず、人ですね、撮りに行くのか、どうするのか、人の動きを採用するのかどうかを多数決で決めたいと思います。あと1週間。それとも、そのことも踏まえて、次の議会だよりに間に合うかどうか、そして、人の動き、本当はあったほうがいいんですが、1週間で間に合うかどうかということで、次回の議会だよりに、これプラスか分かんないけど、人の動きを載せた写真が掲載できればいいなと思う委員の方はおられますか。

(「意見言っていていいですか」と伊藤委員)

伊藤委員。

○伊藤委員 私もさっき、人の表情だとか動きがある写真は望ましいですけども、でも、意識的に、1週間あったからっていつに本当がいい写真が撮れるかどうか分からないので、今回はこの中から選んで、次のときはいついつまでに各議員も頑張りましょうとか、でも、やっぱり議会として何かトピックスみたいなものがあるといいですけど、何も無いのに、目的とかをちょっと明確にしてから、みんなの意思を確認してから何かいい写真が撮れたらいいなというふうに思います。それはちょっと何かずらしてみてもいいでしょう、1週間しかないのに、なかなかお忙しい皆さんの中で、出しても、また決めなきゃいけない、また会議をして決めなきゃいけないのでね。

○西野委員長 まあ、そうですね。

(「ついでに」と矢田貝委員)

矢田貝委員。

○矢田貝委員 今日はこれの中から決めていいと私も思っていて、毎回これをするだ、何だ、この中でって悩むってところの議論を、今日なのか次回なのか分かりませんが、やる必要があると思います。例えば各高校生の中の写真部とかあれば、そこに向かって投げかけてみるとか、何か工夫をして、継続して1年間このシリーズで議会だよりは出すんだとか、何回まではやってみようみたいなところで、途切れないようなやり方とか、何か考えていく必要はあると思います。でも、頂いたものの中から選んでいく、今回、みんないいなと私も思いましたので、選ぶのが、落選がかわいそうぐらい、みんないいなと思いました。

○西野委員長 確かにそうですね。でも、1から4までが同一人物でしたっけ。

○長谷川議事調査担当係長　そうです。

○西野委員長　だから、5を入れてあげて、あと、1から4を、さっきのレイアウトの話じゃないですが、吉岡委員から、レイアウトの一部を削っちゃうと、やっぱり写真の価値というか、撮った方の思いというのが削られてしまうということなので、レイアウトも、何ていうんですかね、写真を全部残しながら何かレイアウトできるような取組をしていけばいいかなと思うんですが。

（「賛成です」と声あり）

あとは、1枚ばあんと載せるか、レイアウトを何枚か載せるかというのをちょっとここで諮りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

どれか1枚を選びたいという方はおられませんか。

〔「1枚でいい」と門脇委員〕

○西野委員長　1枚でいい。

〔「私も1枚でいいと思います」と錦織委員〕

○西野委員長　1枚でいいですか。

〔「私も1枚にします」と矢田貝委員〕

○西野委員長　では、1枚で。

（「はい、1枚で」と声あり）

じゃあ、ここで決めたほうがいいですか。

○松下事務局長　お願いします。

○西野委員長　では、1から5番、まずは多数決取ります。

1番。

（「1回のみですか」「1個」と声あり）

1個がよろしいですか、それとも写真が多いんで、1人2つとかで、それで決勝戦とか。

（「そっちが決めやすいかと思えます」と伊藤委員）

○西野委員長　では、1人2枚と、こういうことで。

○門脇委員　ちょっと待ってください。

○伊藤委員　何かちょっとその間に事務局に聞いていいですか。1番目は少し何か不明瞭な感じがしますが、元データは大丈夫なんですかね。

○長谷川議事調査担当係長　元データは大丈夫です。はっきり写っております。

○伊藤委員　ああ、そうですか。ありがとうございます。

○門脇委員　こんな感じってということですか。1番。

○伊藤委員　もうちょっといい感じ。

○錦織委員　でも、かすんでるのかな。

○矢田貝委員　桜に焦点が入ってるんだと。

○門脇委員　ちょっとこれ見ると、ちょっと違う。

○伊藤委員　印刷機じゃない。

○門脇委員　こっちはコピー、コピーだもんね、こっちはいいけれど、こっちはより宇宙人みたいな感じで。（笑声）やっぱり元データのほうが鮮明に。

○岩崎委員　取りあえず2個。

○西野委員長　はい。

皆様、よろしいでしょうか。

○岩崎委員 はい、いいですよ。

○西野委員長 じゃあ、まず、1番の写真がよろしいという方。

[賛成者挙手2名]

○西野委員長 2名ですね、1番が2名。

○矢田貝委員 2回ですよ。

○西野委員長 2回です。

では、2番の写真が。

[賛成者挙手4名]

○西野委員長 3番の写真。

[賛成者挙手2名]

○西野委員長 4番の写真。

[賛成者挙手4名]

(「4番が多いな」と声あり)

○西野委員長 では、5番の写真。

[賛成者挙手2名]

○西野委員長 それでは、2番と4番が4名ずつなので、決勝戦ということで。これはもちろん1人1回でお願いします。

では、2番か4番。2番がいいなと思う方。

[賛成者挙手4名]

○西野委員長 4名ですかね。

では、2番で決まりです。

では、次回の議会だよりは、2番の写真を採用するというで決まりました。

錦織委員。

○錦織委員 それで、決まったのはいいですけど、何かいつも、議会だよりの後ろにこの前何か募集しますとかいっているのがあったんですけど、だけん、あれの募集の仕方もちよっと考えないといけないですよ。

○西野委員長 そうですね。あれ、募集はもうしなくていいんじゃないですか。そうなりますよね。

○伊藤委員 はい。

○錦織委員 あれから何か考えるんだったら。

○門脇委員 考えるんだったらですね。

(発言する者あり)

○錦織委員 もう私たちが、もう写真を写すんだったら。

○西野委員長 カメラを常に持っていかなきゃいけないので、確かに。

事務局長、どうでしょうか。

○松下事務局長 よろしいですか。

○西野委員長 はい。

○松下事務局長 確かに毎回この募集をして、何日までに出してくださいということで、米子市に関するもの、米子市の四季折々の風景、イベントなどということで、人物ってい

うのがここ書いてないというのはありますね。ですから、先ほど人物という話が出て、これまでと同様にこの応募をしてでも、委員さんは人物がいいというところで、応募してもなかなか採用されないケースが出るなっていうのはちょっと気にはしてたんですけども、新たな形で、もう委員がカメラを向けるんだということで、委員で撮って、その中から選んでするんだということが決まれば、当然もう募集はかけてはいけなと、そういうふうになると思うんですけど。

○西野委員長 それも決定しなきゃいけないですね。

○松下事務局長 はい。

○西野委員長 では、これを諮ります。

議会だよりの裏の写真の募集、こちら、もうしなくていいと思う方の挙手をお願いします。

○矢田貝委員 そんな勝手にやるやらんって決めれるのかなって思って。だって、そのつもりで準備してる方も今は大分いらっしゃるかもしれない。自然になくなればいいんですけどね、応募が。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 何とか議会だよりに見てもらおうと思って、誰かの写真が載ると、少なくとも自分の写真載ったよって行って見てくれるんじゃないのって行って、こういうふうな市議会だよりの募集をしてきて、その当時はほかの議会も募集をよくやっていたって、イラストだとかも何か募集をしてました。今こういうふうな形になってますけど、始まった当初は家族の写真を載せて、こういう人物送ってくださいねっていう投げかけをしてたわけですけど、なかなか、子どもの写真が出てきたって、冬なのに何か入学式の写真だとか、何かずれちゃって使えなかったりとかいろいろしたものですから、最近はずっと風景っていうふうになって、私もちょっときっかけとしてはよかったけれども、一定程度のもう何か達成はしたのかなと思うので、やっぱり変えてもいいのかなと思います。さっきの矢田貝委員がおっしゃられた高校生の写真部だとか、とってもいいなと思いましたので、そっこのほうに向かって行ってもいいのかなと、お願いに行ったらいいんじゃないかと思ったりもしました。

○矢田貝委員 それはやはりぜひしてみたいですね。

○伊藤委員 はい。何日までっていう、ここで決めても大丈夫なんじゃないかな。

○矢田貝委員 いいんですか。

○西野委員長 確かに矢田貝委員が言われるように、急に写真の募集がなくなってしまうということ、大山町を見ても、あと、裏はこのように、矢田貝委員が言われるように、急にやめるよりは、例えば裏に採用しますと。これ、裏に採用だと、写真が全部ちょっと違ってくるんですけど。

○伊藤委員 表紙の写真を募集しますとかね。

○矢田貝委員 募集をするから来てるんだったら、やめたら来ないかもしれないけど、もうそういう意味で準備されてるんだったら、来るかもしれない。そしたら、対応して行って、だんだんなくなっていったのでやめるといところが私は一番新しい案とかぶっていく時期っていうか、少し準備が1回か2回ぐらいはあってもいいのかなっていう。即、高校生のところをお願いに行っても、次、間に合うようにしてもらえなかっていうところもあ

るでしょうし。なので、募集かけなくても待つだけは待つのが1回、その次に向かって、私たちがカメラ持って生活するのも1回ぐらいにしといて、もう一步、次ぐらいから、新年度がスタートして、部活がうまくいき出して、よなご市議会だよりによっていうようなことが生徒さんたちに乗かっていったときが秋とかになれば、その辺りからそんなふうに分けるかなと思うんで、えい、やあでできるかなっていう、ちょっと心配があります。載せないってというのは、載せないでいいかなとも思います。

○西野委員長 どうぞ。

○伊藤委員 ちょっと意見を聞いてて、折衷案なんですけど、例えば、これは「次の市議会だよりで発行する予定です」なんですけど、そこを取ってしまって、取りあえずは応募を待って、1回だけね、それを1年のうちに使ってもいいし、使わなくてもいいしみたいな形にしてはどうかなと思いましたが、今回だけ載せてね。次の議会だよりで載せるっていうんじゃないで。

○西野委員長 錦織委員。

○錦織委員 でも、何か去年の9月議会だったかな、なかなか結局古い写真しかなくて、それでそれにした、何か3つのコラボのね、したでしょう。それは載ってなかったっていうか、募集しますって載ってなかったから来なかったわけじゃなくてって、これ、人气が悪かったってということだよ。

(発言する者あり)

それが今回は1人の人が4枚出されたから、何かたくさんあるみたいに見えるけど、載せなくてもいいんじゃないかな。(笑声)

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 載せなくてもいいに手を挙げます。(笑声)

○西野委員長 じゃあ、事務局長、そういうことで、募集はやめていただくようお願いします。

○松下事務局長 そうですね。

○錦織委員 載せなくてもいいから、どっと来た場合にはね、何か。

○松下事務局長 アナウンスというか、そういうのが少し必要なかなと思いますけどね。

○伊藤委員 そうですね。

○錦織委員 何かちらっとここに書いたり。

○松下事務局長 表紙についての募集はこうこうこういう理由で、前回というか、今回というか、今後は、新しい方針が決まれば、こういう方針で、よりよくなって言ったら失礼ですね、今の方に。こういうふうに変えていきたいというような、何かメッセージというか、何もなしに、あれ、なくなったのというふうなことがないように、そこをちょっと工夫して、最終的には委員の皆様と諮るような形は取らないといけないのかなというふうには思います。

○錦織委員 そうすれば、ページを何かほかのに使えるしね。

○西野委員長 ほかに議会だよりについて、御意見がある方。

○伊藤委員 ほかのところですか。

○西野委員長 前回までの協議のところか。

じゃあ、ちょっと前回までの協議、発言をさせていただきます。

各個質問はQRコードでホームページの各議員の録画配信につなげると。会議録は製作に日数を要することと、議員ごとに分かれていないため。

指摘事項、決議事項、審議結果もQRコードでホームページへつなげるのがいいのでは。縦書き、横書き、サイズを含めたレイアウトについては、継続協議。掲載内容について、委員会トピックスなど、市民生活に直結した内容を載せてはどうか、ホームページとの関係性が前回からの協議です。

何か議会だよりについて、新たな御意見よろしく申し上げます。

森田委員。

**○森田委員** ほかの自治体さんのも拝見させていただいたりすると、モノクロだけじゃなくて、フルカラーでやとられるところというのもあるんですけど、何か予算の都合上、モノクロじゃないと駄目とか、そういうことで今現在モノクロで発行されているのか、じゃあフルカラーにするみたいな、もちろんデザイン費とか印刷費もかかると思うんですけど、フルカラーにするみたいなことってできたりするのかっていうのがちょっと気になったんですけども、どうでしょうか。

**○田村事務局次長** 意見いいですか。

**○西野委員長** はい。

**○田村事務局次長** 予算要求の段階で、カラーが何ページ、中の白黒が何ページっていうのは見積りを取って予算要求をしていますので、少なくとも令和5年度については、これまでどおりの配色といいますかというものの予算を要求しているので、それをちょっとこれから変更するっていうことは少し困難じゃないかなと思っております。次の年度から、じゃあこういう構成で、少しカラーのページをとというような御意見があれば、それに沿った見積りをして要求をしていくっていうことは、6年度に向けてはできるのかなとちょっと思います。

**○西野委員長** ということは、1年間は今のままということですね。

**○田村事務局次長** そうです。今の時期ですと、ちょっとそれで御理解いただけたらなと思います。

**○西野委員長** ほかに御意見ございませんか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** では、分かりました。事情もよく分かりますので、でも、やっぱりさっき森田委員がおっしゃられたように、ほかは結構フルカラーだとか、それだとか、フルカラーにはなっても、松江市もフルカラーとこの2色ですよ。だから、1色よりかは2色のほうがまだ見やすいので、その分もまた見積りを取って、6年度の議論の資料として頂きたいなと思っております。

**○田村事務局次長** そういう御意見を承れば、要求の段階から、うちのほうもちょっと心得ておいて、確認して、見積りを取るような作業に入りたいと思います。

**○西野委員長** ほかに御意見はございませんか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** じゃあ、何点かあるので、よろしくお願いたします。

横書き、縦書きというふうにありましたけれども、項目によって変えればいいのかというふうには、全部が横書きとか全部が縦書きというようなことではなく、今のよなご市議

会だよりも、横書きのところもあれば縦書きのところもありますので、例えば今の各個質問は今までどおり縦書きだけれども、常任委員会のトピックスみたいなものができるとしたら横書きにするとか、やっぱりちょっとレイアウトを工夫したらいいんじゃないかなと思ってます。

私、何度も言ってる、まだ何か実現してないんですけど、やっぱり業者さんと一緒に、こういうレイアウトがどの程度までできるかとかできないかとか、そういうような打合せみたいなものができればな、だし、あと、大山町の議会だよりは、行かれた方は御存じだと思いますけど、朝から晩まで広報広聴委員が、ああでもない、こうでもないって横書き、縦書きを何かいろいろ駆使してやっているということなので、何かタイムスケジュールの中ではとても難しいかもしれませんが、事前にレイアウトをするっていう場面をつくりたいなと思ってますので、お願いします。そのレイアウトをもしするとしたら、例えば請願だとか陳情だとかの、意見書だとかも1ページになりますけれども、そこはホームページに誘導をしてしまって、そこを皆さんが聞きたいような、トピックス的なものをつけるとか、あと、写真だとか、イラストだとか、ほかの議会だよりはたくさん使ってるんですけど、米子市は文字が多いっていうのが定番になってますので、もっと見やすいようにするっていうのもレイアウトでできるのかなと思います。

写真と重なるところに文字を載せたりとか、そういうような少し目を引くようなレイアウトもやっぱりレイアウトのところではできると思いますので、それは日付を切って、レイアウトを提案をしていくっていうことをしたらどうかなと、議会だよりについては思います。

あと、もう一つなんですけれども、八尾市の議会だより、URLで送っていただきました。私も自分でプリントアウトするつもりが忘れちゃってたんですけど、その分はQRコードを、質問の上の部分にQRコードを見てくださいっていうような表示があったりとか、議員の名前の下にQRコードがあったりするんで、事務局の準備が整ったら、もしかしたら3月議会発行もできるんじゃないかなと、大きな一歩になるんじゃないかなと思いましたが提案させていただきました。以上です。

**○西野委員長** ほかに御意見はございませんか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 常任委員会のコーナーっていうのは、大山だったですかね、すごく市民にとって動きがあるっていうか、目新しい動きが、今のものが伝わってくるということで、とてもいいなと思いました。

それから、ホームページ上の議会だよりのところが、左側ですかね、今、議会のホームページから市議会だよりっていうのができましたよね。見れますか。

(「見れると思う」と声あり)

そこがやっぱりべちゃっとしてるっていうか、全部が、べちゃっとして、一生懸命見て、検索のところもほかの並びに入ってしまったので、そこまで行くのにゆるゆるって見ていかないといけない。市議会だよりも、ぱんと入った人に、伝えたいだよりがホームページから入ってもらうためには、やっぱりどこか目を引くような工夫とか、議会だよりもそうなんですけど、議会のホームページも含めて、もう少し何か動きがあるといいなと思うんですが、それが私たちの広報広聴委員会がどこまで仕事として意見を言って続け

るのかっていうところをいつも私、どうなんかなと思ってるところがあるんですね。市民との垣根を低くして、市民の皆様が発信していくという役割はあるんですけども、何か私たちができる形っていうのは議会だよりと語る会になっているから、そっちの2本であって、それ以外のところに話を持っていくっていうのが物すごく大変だし、エリア広過ぎるかななんて思っているんですけど。

なので、意見としては、常任委員会のページはすてきだなと思いました。以上です。

**○西野委員長** そうですね、常任委員会はやっぱり。本市では予算委員会指摘事項がずらっとあって、常任委員会ごとに書かれてないというのが本市の議会だよりですね。やはり矢田貝委員言うように、参考になるんだろうと、委員会のトピックスが分かっていると。

ほかに御意見はございませんか。

森田委員。

**○森田委員** さっき矢田貝委員がおっしゃったことに補足したいんですけど、インターネットで議会だよりが見えるようになってると思うんですけど、もう全部これがばあっと並んでるので、見開きのページじゃないんですよ。ほかの自治体さんとかだったら、見開きの状態で、PDFか何か分かんないですけど、見えるような状態になってるんですけど、米子市はこの1ページずつばあっと並んでるので、例えば審議結果とかもめっちゃめっちゃ見づらいんですね。もう切れてる、途切れてたりするので、それは多分すぐ直してもらえると思うので、見やすいようにデータをちゃんと書き出す方法とか、様式が変われば多分すぐできることだと思うので、そちらをやっていただけたら全然見やすさが変わるのかなっていうふうに。

**○矢田貝委員** 本を開くみたいだね、こうやって見れたら。

**○森田委員** このまま見れたらいいんですけどね。極端に言ったら、こっちのページずつ並んでるみたいな形になってるので、これを見開きで見れるといいかなとは思いますが。これは意見です。以上です。

**○西野委員長** ほかに御意見ございませんか。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 前回、矢田貝委員がやっぱりQRコードで誘導するんだったらホームページのほうまで整えないといけないって言われて、それは大仕事だなと思ったんです。やったほうがいいのかと思うんですけど、なので、伊藤委員が言われたみたいに、まずできること、誘導できるところをまず貼ってしまうっていう、それはレイアウトとか、ちょっと調整でできると思うので、できることはもう3月のときでもすぐやってしまっただけで、誘導できるところは徐々にでもやっていく。ただ、常任委員会のトピックスを入れるっていうことも多分決めないと、次のときからやるっていうのは難しいと思うんですけど、予算が決まってるっていうことは、多分ページ数ももう決まってしまうことだと思うので、何をやめて常任委員会のトピックスを載せるかっていうところはいつ議論したらいいのかなっていうのと、あと、大山町さんがみんな編集まで一生懸命されるっていうことなんですけど、委員の中にイラストレーターとかフォトショップを扱えるスキルの人がいるのかなと。あっ、いる、できるんですか、すごいですね。そしたら何かやり取りをしながらするっていう、業者さんとがすごくスムーズにいくんではないかなと思います。

**○西野委員長** 伊藤委員。

○伊藤委員 実はここは私が以前つくった分で、何かここも何もなかったもので、こんな感じにしてもらえませんか。って提案して、皆さん、いいですよって言ってくださったら、できたところなんですよ。けども、どんどんスケジュールは事務局のほうで進めてくださって、そこに書き方がね、今まですごく難しいなと思ってたので、早い段階でもうちょっと話をしながらするといいいのかなと思っておりますので、皆さんの共有できるところをどんどん進めたらいいかなとは思っています。

○西野委員長 ほかに御意見はありませんか。

錦織委員。

○錦織委員 私もちっとセンスがないんで、何かしゃれた気な分かりやすいような、みんなに読んでもらえるようなものにしたらいいなっていうふうには思うんですけど、これ、大山町は全部自分たちでしておられるんですか、これは。そうしたら、時間かかるね。それも大変だね、だけどね。だけん何だか広報委員会がとかって言ってね、そんなに長いことかかるかと思っただけ。

(「2日間」と伊藤委員)

2日間、そうですか。でも、とにかくQRコードを入れるっていう、できるところから変えていったらいいのかなっていうふうに、今、私たちは改革していますとか後ろに書いて。分かりやすいようにね。すごい、何か見とったら、ああ、動きがあっていいなど、そういう感じにしたいよね。ただ、伊藤さんができますって、伊藤さんに何か頼ってする、そしたら、伊藤さんもいつまでもこの委員会におられるわけじゃないだろうからと思ったりして。

○西野委員長 皆様、常任委員会のトピックスとか入れたらいいんじゃないのかという御意見がありまして、先ほど吉岡委員からもありましたけど、予算がもう決まってる中で、じゃあ、常任委員会のちょっと題材的に取り上げることになると、吉岡委員言われるように、削らなきゃいけない場所もあると思うんですけど、その点、御意見とか、ここを削ったら、必要ないんじゃないかなとか、どうでしょうか。

○伊藤委員 ここに、さっきも言いましたけれども、例えば意見書を1枚こうやって載ってますけど、意見書の例えば表題だけ上げて、QRコードで内容はこちらですでもいいんじゃないかなと思ったりもします。これも意見書ですけど、意見書の下は何かこれで空いてたりとかして、何かもうちょっと、それだったらもっと大きくしたらいいのかななんて思ったり。

○錦織委員 後ろも空くことだしね。

○伊藤委員 そうですね。あと、予算決算委員会の指摘事項もこういうふうにやっぱり文字が並んでいても、なかなか見えづらいなというふうな意見が聞かれますので、ここなんかもやっぱりQRコードで引っ張っていくと、かなりの枚数、質問のところ以外は改良できるのかなと思います。

○西野委員長 ほかに御意見はございませんか。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 年間で何月号に何っていうのは、ある程度今、決まっていると思います。代表質問のときのページの配分とか、それをもう一回整理して、常任委員会入れるときには3つ含めて1号の中に収めるバランスがいいでしょうし、そこに特別委員会が入る号が

あってもいいでしょうし、今、年度が替わった4年度は1年スタートしてるので、私たちが頑張ったら、あと3年はその流れでいって、うまくいけばそれがずっと続いて、少しずつ変えていくようにすればっていうのがあるので、次なのか、次の次なのか分かりませんが、1回今のページの配分を整理して、私たちの議会の流れを整理してっていうのを一度、委員長によいタイミングで議論させていただいたらいいかなと思っています。

○西野委員長 まず……。

○矢田貝委員 3月議会だけは違うよね。

○西野委員長 そうですね、3月議会が。

(「代表質問」と声あり)

○矢田貝委員 代表質問だから。

○西野委員長 代表質問ですね。

○矢田貝委員 ページの使い方。

○錦織委員 ちょっとのところで常任委員会となると1個ずつ、1回ずつ入れなきゃならない。

○矢田貝委員 はい。1号に常任委員会は3つ入れて、もし特別委員会入れるんだったら、次の号に入れるとか。

○西野委員長 常任委員会を入れることはいいと思うんですけど、それを次の議会だよりにいけるのかどうかですけど、難しいですよ。

取りあえず次の議会だよりは、QR載っけるぐらいということでしょうかね。

○錦織委員 ただ、裏が空くからねとか言ったりして。

○吉岡委員 ですね、裏が。

○錦織委員 裏に何か入れることもちょっと考えて。

○西野委員長 じゃあ、議会だよりについて、全体についてはほかに御意見ありませんか。

○伊藤委員 全体、議会だよりですか。

○西野委員長 議会だよりの全体で。

伊藤委員。

○伊藤委員 裏のことなんですけれども、できるのかどうか分からないですけれども、さっき高校生の写真部とかおっしゃってくださったんですが、例えば学校で子どもたちの何かこういうものとか、松江市もあったと思うんですけど、何か出ることができれば、主権者教育にもなりますし、とってもいいんじゃないかなとは思ったりもするんですね。これがまた教育委員会ですぐさっと出てくるのかどうかは分かんないですけど、やっぱり人目を引いて、子どもたちも、保護者さんや地域の方々も、あっ、出とるなっていうふうに見ていただけるっていうのがやっぱりいいんじゃないかなと、裏表紙のね、と思います。

○西野委員長 ほかに御意見はございませんか。

吉岡委員。

○吉岡委員 結局この表紙と裏表紙だけがカラーっていうことで、すごいアピールできるんですけども、今回はネタがないので、私たちがこれから変えていくんですっていうような決意表明とか、そういう議会だよりの御意見とか、何か募集するようなこととか、何かこっから先に向けて、そんなことをちょっと書いたらどうでしょうか。

○西野委員長 要は、写真を募集しなくなるから。

○吉岡委員 それもある。ここにもしいつも出るんだったら、そこ見たときにはないってなるんだたら、こういう理由で変えていきますみたいな。取りあえず、今回は。何か集まれば、ここに市民の声が載るような形にはなるのかなと。何を寄せてくださいって決めないといけないですね、募集するにしても。

○伊藤委員 だけでも、多分その1年の間には、皆様の意見を募集してたりとか、今までずっとしてたんじゃないですか。

○吉岡委員 そうなんですか。

○伊藤委員 毎回じゃなくても、はじめ、私が入ったようなときからでも、何かずっと20年ぐらい前からでも、皆様の声を募集してますよっていうようなページは、コラムみたいなものはあったと思うんですけど、何かレイアウトの関係で出たり出なかったりとかするんですけども、これやってると思います。でも、私も久しぶりに何か、何でこんなにでっかいんだらと思うので、もうちょっと必要な情報を上手に入れたらいいなと思います。

さっきから出てますけど、事務局も言ってくださったんですけど、局長も言ってくださったんですけど、広報広聴委員会で今こういう議論になってますとか、こういうことをやっていきますとか、何かそれにはこういうことが必要ですみたいな、市民の皆さんが、あっ、ちょっと頑張ってるなど見ていただけるようなことを書いてもいいのかなと思いました。

○西野委員長 3月号の議会だよりの裏ですね、決意表明。議員の、広報広聴委員会の決意表明というのをここで見せようかということで、事務局長、我々、やる気があるということ。

○松下事務局長 原案は委員長、副委員長を中心に決意をまとめていただいて。

○西野委員長 はい。

○松下事務局長 委員の中のコンセンサスを取って、それで、ちょっとこれ多分議員全員の方に影響してくることだと思いますので、会派で持ち帰るのか、ちょっとコンセンサスを取られてからのほうが。

○伊藤委員 いいかもしれないですね。

○松下事務局長 例えば、意見交換会とかっていうのが、各種団体との意見交換会っていう意見も出て、本当にそれやるかどうかっていうところを勝手に、こういうふうにやりまわすっていうのを全議員のコンセンサスなしに流してしまうっていうのは、後々ちょっと問題になるのかなということになりますので、レイアウトを少し変えろとか、QRコードをつけろとか、そういったところは広報広聴委員会で決めて変えていけばいいと思うんですけども、先ほど、決意表明の中に広報広聴委員会としてはこういうふうなことを考えてるということは、やはり全議員さんのコンセンサスというか、そこを取った上で全世帯に配布するというような形を取られたほうがいいんじゃないかなというふうに思っています。ですから、ちょっと間に合うかなっていうのは、少し。

○伊藤委員 そうですね。

○松下事務局長 イラストを募集しませんということは。

○西野委員長 できるんですか。

○松下事務局長 どこかに、1ページも取らなくてもいいのかもしれないんですけども、

ほかのこと、具体的にこういうことを考えてるといふところをちょっと拙速に載せるのはどうかというふうに思ってます。

**○西野委員長** 分かりました。

ほかに御意見ありますか。

では、議会だよりについては、取りあえず次回の議会だよりで進めていくことは、QRコードを載せる、裏の一番最終ページに、写真はもう募集しないということで、取りあえずは直近の議会だよりについてはそうですが、今後、また6月号からですかね、できれば6月号から色々と、いつから変えていきます。順次変えてくるようになるんですけど、1か月に1回集まって、こうやっといういろいろと討論するわけですけど、なかなか進まないというのが私の意見であって、これを、大山町の議会だより、広報広聴委員会みたいに一日中とかはちょっと皆さんは難しいかもしれないんですけど、やはり毎月、広報広聴委員会で集まるっていうのは必要、毎月で足りるのかなという感じはします。その辺どうでしょうか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 議会だよりのとこだけじゃなくて、話していいですか。

**○西野委員長** はい。

**○伊藤委員** 前回まとめてくださった中で、議会だよりもだし、議会報告会、意見交換会にするっていうようなことや、あと、議場の開放というようなこともありましたので、6月からまた新しく広報広聴委員も替わるっていうようなことになると、また替わると一からで、なかなかエンジンがかかるまで議論で止まってしまうみたいようなことになってしまわないかなと、私もそう思ってます。

今、これまでの議論を聞いていても、共通認識たくさん図れるところがあるなど、方向性が必ずしも反対側になってるわけではないなというふうに、みんなの気持ちは一緒だなと思ったりもしますので、できれば少し、5月までに決められるところは決めていくというような形で、分科会方式みたいなことでもできないのかなというふうに思ったりもしていますが、いかがでしょうか、委員長。

**○矢田貝委員** 突拍子のないことをちょっと言っていていいですか。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** おっしゃるとおりで、この広報広聴委員会がメンバーが替わりながらこれだけのことを抱えて広報広聴していこうっていうのは基本ちょっと難しく、本当に議会事務局の方がいらっしゃってこそ今まで回ってきたっていうことだと思います。

全議員が、やっぱり市民に向かってどのように議会を発信していくのかっていうことだと思うんですね。議会だよりを進める議員、それから語る会なり、市政等のものを進める委員会、やっぱり全体議員がどこかに属して、市民と語り合っていくっていう意識を常に持っていくっていう形に大きく変えていかないといけないなというふうに思います。私たちが1年間意見を言いつ放しにして終わっていくのは勝手なんですけれど。

**○西野委員長** そうですね、意見言って、終わりますよね。

**○矢田貝委員** 本当にあと何回集まるだろうって私たちも言ってたんですね。ただ、整理せんといけんし、できること、それから、議場をどうぞお使いくださいっていうのも、空く次号の一番最後にどこまで入れられるかっていうことで、勝手に広報広聴委員の決意表明

で埋めることができないにしても、後書きみたいなところで、委員長、副委員長のコメントなり決意みたいなものが入るには、そんなに大きな、全議員の了解が要ることじゃないと思いますし、そこに一文、議場を皆さんお使いになりたいのでっていうようなことが載せれるかどうかっていうことは、議長なりに了解いただいたら載付けてもいいことかもしれないし、一個ずっと、次々、持ち越しではなくって、クリアできるところが次の議会だよりでオーケーを出して、次にはこれ、次にはこれってタイムスケジュールをつくっていただいて、やりたいっていう気持ちは皆さんあるわけですから。

○西野委員長 そうですね、今だとQRコードをひっつけて終わりになっちゃいますからね。そうなんですよね、なかなか難しいことになって。

事務局長、伊藤委員が言うように、印刷会社。

○伊藤委員 印刷会社。

○西野委員長 印刷会社の方を含めて、早過ぎるのかな。

伊藤委員。

○伊藤委員 今回は多分間に合わないの、次のときに私たちの質問項目、議会だよりに掲載する質問が上がるまでに、それまでに、やっぱりここをどうするとか、そういうようなことを考えておくっていうのが必要なんじゃないかなと思うんですね。なので、それも、多分3月号でまた新しい、印刷会社が替わるんだと思うので、その時点がいいのかもしれないな。

○西野委員長 替わるんですか。

○伊藤委員 4月で替わりますよね。

○田村事務局次長 3月号は3月に出しますんで、今までと同じ。

○伊藤委員 今はですね。次から、4月から替わりますよね。

○田村事務局次長 そうです。

○伊藤委員 一年一年替わるんですよ、印刷会社さんっていうのは。

○錦織委員 次、発行するのが、3月には6月号。

○田村事務局次長 次の6月号から新しく、また入札しますんで、年度が替われれば。

○松下事務局次長 今の業者さんって、事前に何か話してる。何か、こういうときには相談に乗ってくださいみたいな話は事前に何かしてある。

○長谷川議事調査担当係長 してないです。

○西野委員長 なかなか進まないなっていうのが。

吉岡委員。

○吉岡委員 ほかの委員さんから聞いたんですけど、米子市議会は会期が長いので、間の期間が短くて、例えば大山町さんなんかこんだけできるのは、やっぱり会期が短くて、後の残りがすごく長いから時間がかけるしみたいな話を聞いて、私たちもできる範囲でやらないといけないと思いますし、レイアウトとかっていうことよりも、何か議会としてやってることの中身が全然違うなっていうふうに感じました。いろんなことされてるんだなと思ったんで、同じような会期でありながら、いろんな取組をしてる、広報広聴委員会とかあったりとかがあります。こういう、同じレベルのところをまずは参考にしないと、ちょっとこの大山町さんとかはハードルが高いのかなというふうに思いました。でも、できる範囲で、もう少しちょっと密に打合せとかを持って、今変えるときではないかなと

思うので、少し負荷がかかってでもやりたいなとは思っています。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 議会だよりについて傾注していくっていうんですか、この私たちの期はっていう。この期で、例えば私たちから議会に対して提案できるような広報広聴委員会ってところの在り方とか、持っていく方とか、公聴会も含めてっていうところに集まる力を持っていくのか、議会だよりを大きく変えていくってところに行くんだと、話がすっきりするんですけど、とにかくみんな良くしたいっていう思いがあふれてるんで、もうとっちらかってますよね。私が言ってることもめちゃくちゃなことを、何かいろんなテーマを言ってるなって自分でも分かってるんですけど、それが言える空気を今、委員長がつくってくださってるけん、いいんだけど、大変ですよ。(笑声)なので、何か私たちも、もう年明けました、できるのは、議会だよりを形づくっていくことなのか、広報広聴委員会を整理していくのかっていうこと、これはちょっと明確にせんと、もう何も。

○西野委員長 進まないですよ。

○矢田貝委員 変わらず、QRコードつけて、写真のこをつけたら終わっちゃうような気がするんですね。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 私、やっぱり広報広聴なので、広く皆さんの声を聞きたいと思っています。だから、ここも、議会だよりもそうなんだけれども、やっぱり議会報告会を前、議論相当しましたよね。そこみたいに、常任委員会ごとに意見交換をしていく、団体と意見交換をしていくってところを進めれば、自然とそこの写真は生き生きとしたものがまた載せられて、無理にどっかから引っ張ってこなくてもできるんじゃないかなと、ホームページも生き生きとしたものになるんじゃないかなと思っています。

そこで、まずはこの、私、さっき分科会って言いましたけど、やっぱり何かこの1時間や2時間ぐらいの中ではなかなか詰め切れないなと思っていて、実はこれ回してもらったらいいなって、1枚ずつ取ってもらったらいいなと思ってんですけど、湖南市と鳥取市議会。回してもらったらいいですよ。

○岩崎委員 回しましょうか。

○西野委員長 1枚ずつ。

○伊藤委員 1枚ずつ取ってもらって、回してください。

○西野委員長 2枚1セットね。

○伊藤委員 はい。2枚1セット。1枚ずつ取ってもらって。

これは自分のやつ。

○岩崎委員 いや、ぐるっと回ってきますから。

○伊藤委員 この前も、議会報告会の開催要綱を変えなければ、なかなか意見交換会につながらないんじゃないですかって言うようなことで、ちょっといろいろ調べて、近くの鳥取市議会、いつも参考にしているので、鳥取市議会のものは毎年、何か初めから開催趣旨及び経緯っていうので十分議論をしてから、1年の間にこういうワールドカフェみたいにやってるわけですね。これはちょっとやっぱり、毎年委員が替わる中ではハードル高いなと思って、なので、この湖南市議会もこの2枚目、裏見てもらおうと、附則24年、25年、26年、30年と、市民のニーズに合わせて変えてきたんじゃないかなと思うので、やっ

ぱり年に1回以上するだとか、ブロックだとかの細かいことは書かずに、理念的なものにしておいて、そこの中で自由に市民のニーズに合わせて、私たちのやりたいってようなことを決議しながらやるってことにすれば、できるのではないかな。そこら辺のところまで形をつくって、次の年度にバトンタッチしなきゃ、次またできないなというふうに思ったりもします。前回、本年度はできませんねっていうことで終わっちゃったですけど、でも、できれば5月ぐらいにはやりたいなっていうようなこともありましたので、それは代表者会議にも入ってもらって、案をつくって、できるのではないかなと思います。

**○松下事務局長** それに関して、よろしいですか少し補足で。

以前に説明したと思うんですけども、議会報告会の開催要綱というのがございます。手元にございませぬ。この開催要綱は何を根拠につくられているかといいますと、これ、議会基本条例です。基本条例の第5条の2、第2項の規定に基づいて議会報告会の必要な事項を定めているということとなっておりますので、今まで議会報告会という名前で意見交換会をこれに包含してやるのか、別のものでやるのかというところ、これは議論していただく必要があるんですけども、別なものでやろうということになると、条例改正が必要になってくる。基本条例の改正、今、議会報告会を開催するとすると、第5条の2、議会は、市政の諸課題に対処するため、市民と市政に関する情報及び意見を交換する場として議会報告会を開催するものとするということ、この間議会報告会の定義といいますか、市民と市政に関する情報ですとか、意見を交換する場として議会報告会を開催するということ、ここで議会報告会と名称が出てますので、これをこのまま残して中身を変えるっていう方法が一つありますし、もうこの部分を鳥取市さんみたいに議会報告会、意見交換会みたいな形にする、何をするのか分かりやすいように意見交換会ということ、それを前に出したいということになると条例改正が必要になってきますので、そうすると広報広聴委員会だけの話ではなくて、当然会長・幹事長会議ですとか、議運ですとか、そういったプロセスを踏んで、基本条例の改正と、新たに意見交換会なのか、今、仮称を意見交換会としますけども、そういった開催要綱みたいなのをセットで整備していくというふうなプロセスになると思いますので、そこら辺りは御承知おきしていただきたいと思っています。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 議会報告会っていう名前にはなってますけれども、そのとき、基本条例をつくったときも、全体が、大体ほかの議会も議会報告会という名称でした。しかし、もともと市民の意見を聴取するだとか、意見交換をするというふうなところも大きく出ておりましたので、議会報告会も一番初め、公民館で行ったときも、一方通行の報告だけではなくて、意見を聞けるように、半分ぐらいの時間は意見を聞こうというような趣旨で行っておりましたので、私は基本条例は変えずに、基本条例の中の議会報告会は意見交換も含まれるとして、そのままで開催要綱だけ変えていけばいいのではないかなというふうに思っております。私の意見ですけど。

**○松下事務局長** テクニック的には、伊藤委員さん言われるように可能、基本条例そのままにして、この要綱を改正するという、これはテクニック的には大丈夫です。この議会報告会という名前が、今までの感覚で自治会に説明していくものというふうに、それぞれの委員さんですとか市民の方がそういうふうなふうに思っておられるのを、名前も変えて、一新するんだよというような意味で変えるという方法もありますし、ただ、伊藤委員がお

っしゃるとおり、開催要綱の改正だけで対応ができるというのは、それはできるというふうに思います。

○**錦織委員** ちょっとすみません、質問なんですけど。

○**西野委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** 報告会の開催要綱を改正しないと駄目なんです、これは。しないでもできるってことはできないのかという。もう議会報告会に意見交換会も包含されていることを思って、では、この中身がしにくいのか、できないか。

○**松下事務局長** よろしいですか。

○**西野委員長** 事務局長。

○**松下事務局長** この開催要綱を見ていただきますと、ここに細かい規定が書いてあります。開催地区ですとか、回数、それと開催手続、そういうことで、自治連合会長に対して開催に対する通知をするとか、手続的なことがあります。第4条で、開催地区及び開催回数で報告会は米子市自治連合会のブロックごとに行うということになっておりますので、これまで皆様方の意見の中で、関係団体ですとか、常任委員会に関連した関係団体との意見交換会というようなこと、そういった意見も出たんですけども、それを開催しようとする、この開催要綱ではちょっと無理があるというふうに考えます。

○**錦織委員** だって、自治連とは関係ないもんね。

○**松下事務局長** 関係ないですね。

○**岩崎委員** いいですか。

○**西野委員長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** これまでもさんざん結構議論をしてきまして、今期は報告会をしない。しないけども、来期に向かって、我々はしっかりと次なるこの今の市議会の広報広聴委員会の在り方っていうのを提言していきましようという期だったと思うんです。これが6月に、要は委員も替わりますので、逆算すると、3月ぐらいにはもうある程度そういう素案ができてなきゃいけない。それを基に、会長・幹事長会にかけて、開催要綱の変更みたいな手続にも入っていかなくちゃいけないんじゃないかと思います。同時進行で、議会だよりのこともありますし、その辺もちょっと整理して、きちっと一覧表にまとめてもらって、これまでの議論とか、これまでの皆さんの大体合意したことっていうのはあると思うんですね。そういったことを全部、ちょっと改めてまとめ直してもらって、要は堂々巡りの議論みたいになっちゃってまして、よくないなと思ってますので、ちょっと改めて委員長、副委員長の下、要は今までの議事を整理してもらって、次の2月に行われるこの広報広聴委員会にちょっとお示しいただいて、改めてもうこういうようなスケジュールでやっていきましようっていうことになりませんかと思ってます、事務局にちょっと手伝ってもらってですね。いかがでしょうかね。

○**西野委員長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 賛成です。お願いします。

○**西野委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** じゃあ、議会報告会の基本条例の部分は変えずに。

○**岩崎委員** 変えずに、そうそうそうそう。

○**伊藤委員** 要綱のところを案を委員長とつくって、皆さんに。

○岩崎委員 そういうふうの流れでたと思うんですよ。

○伊藤委員 ですよ。

○岩崎委員 そのとおりだと思います。

○伊藤委員 それは何か皆さんの意見がまとまればね、やっていきたいと思います。

○岩崎委員 これまでの報告会では、あっ、すみません。これまでの報告会じゃちょっと駄目よ。要は、変えていきましようっていうのは皆さん多分共通の意見だと思うんで、じゃあそれに向かってどういうふうな形のもんがいいのか協議し合って、それで目標、3月ぐらいにはある程度仕上げていくという、次なる年の提言ということですね、在り方を決めていきませんか。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 賛成です。そのときに、議会報告会か意見交換会かっていうところで、物すごく会派の中で要綱を考えるとときにもありました。個人の意見が語れるかっていったら、やっぱり議会で決まったことじゃないと報告できないっていうところが、私の中には残っていますが、この広報広聴委員会の中で話をしていく中で、やっぱり市民の皆様との意見の交換の場に向かっていくっていうところは、時代の流れの中で、そっちに向かっていくっていうことは会派に持ち帰るたびに情報は出しているんですけども、やっぱりそこから辺は全議員がもう一回理解ができるような形を組まないといけないんじゃないかなっていうふうには思っているんですね。テーマの決め方であるとか、開催の仕方であるとか。なので、また汗かかないといけない時が。

○岩崎委員 そうですね。

○矢田貝委員 必ず来ると思います。

○岩崎委員 ちょっと付け加えさせてもらえますかね。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 これまでだから方法としては、やっぱり常任委員会のより活性化というか、常任委員会ごとにテーマが絶対あるんですよ。その年々とかの、今の直近の問題、課題もあるし、そういったところを吸い上げながら、よりよい、要はまちづくりしていくんだということといえば、やっぱり常任委員会で、ある程度こっちが振るような形で取りまとめたらどうですか、次期提言としてというようなことは一つの目線としてあるんじゃないかなと思います。以上です。

○西野委員長 中学生議会もありましたけど。

伊藤委員。

○伊藤委員 中学生議会は、来年の夏にできるかどうか分かんないけど、ちょっとハードル高いなっていうお話、前回、矢田貝委員おっしゃっていただいて、なので、議場の開放をして、そこで広報広聴委員だとか、また議会がどのように関わっていくかみたいなようなことを、やっぱりこれも何もなしではいけませんので、要綱みたいなものをつくって、目的だとか、そういうものをしっかり書き込みながらつくってっていうふうには、この前の委員会でもありましたので、それを進めていってはいかがでしょうか。

○岩崎委員 そうですね。

○西野委員長 その辺を私と副委員長で取りまとめて。

○岩崎委員 そうですね。

- 西野委員長 皆様に2月に提示をして。
- 伊藤委員 案をね。
- 岩崎委員 まず、今まで意見がいっぱい出てるわけで。かなりいい意見もあったんで、そこまでをちょっと整理して、まとめてもらえたら。
- 西野委員長 ちょっと整理して。
- 岩崎委員 ですね。
- 西野委員長 もう、何でしょう、これでいくっていうのを。
- 岩崎委員 何パターンかお示ししていただいて、それで決めればいいじゃないですか。
- 西野委員長 2月の委員会で、これでいくっていうのを決めましょうか。でないと、ちょっと進まないという感じがしてきましたんで。
- 伊藤委員 ここで決議をして、代表者会議にもかけていただいて、全体としてやっていくっていうような形にしていけばいいんじゃないですかね。
- 西野委員長 それで、2月に委員会を開きたいと思えますけど、伊藤副委員長と私で、皆様にその間、いろいろ意見を聞きに伺うかもしれませんが、そのときはよろしく願いいたします。

(「はい」と声あり)

- 伊藤委員 お願いします。
- 錦織委員 すみません。
- 西野委員長 錦織委員。
- 錦織委員 それで、2月にもう議会が始まるんですよ。なので、いつ頃をめぐりに次の開かれるのかなって。
- 西野委員長 委員会ですね。
- 錦織委員 委員会ね。
- 西野委員長 そうですね。2月20ぐらいからでしたっけね、議会が始まるのは。
- 伊藤委員 閉会中の委員会はいつでしたっけ。閉会中の委員会はいつ。
- 岩崎委員 多分、14とかその辺です。13、14、15かな、その辺です。
- 伊藤委員 じゃあ、その辺りで。
- 西野委員長 じゃあ、その辺りで。
- 岩崎委員 その辺りですね。
- 門脇委員 いいかいね、閉会中、14。
- 西野委員長 13、14、15ですか。
- 松下事務局長 が閉会中の委員会です。
- 西野委員長 前回も最後だったんで、最後でいいか、最終日でいいですかね。それとも、皆様の都合が。
- 矢田貝委員 どっちでも、今決めていただいたほうが。
- 西野委員長 ですね。今決めたほうがいいですね。
- 15、都合が悪い方はおられますか。では、14、都合が悪い方。
- 13、14、どちらがいいかっていうのをちょっと諮りたいと思います。
- 13がいい方は。
- 門脇委員 いや、どっちでも。

- 岩崎委員 どちらでもええ。
- 錦織委員 ちょっとあれを持ってきてみたい。
- 西野委員長 ちょっと手帳なりなんなり。あと、トイレ休憩も。
- 岩崎委員 14が火曜日ですね。14がいいとか。
- 錦織委員 13はいけんけど、14はいいですけど。
- 吉岡委員 14が都合がいいな。民生教育委員会の続きで。
- 門脇委員 14、後期高齢のあれでした、午後から。
- 松下事務局長 正副議長ですね。
- 錦織委員 14が。ほんなら、13日の午後だったらいいか。
- 松下事務局長 14だめですね、副議長。
- 西野委員長 議会だよりについては、もう何か手挙げて何々っていうよりも、みんなでこう。
- 伊藤委員 作業ね。
- 西野委員長 意見を自由に言える会ができれば一番何か進みやすいなっていうのが。
- 伊藤委員 全議員で。
- 西野委員長 全議員じゃなくて、広報広聴委員会でも、この円卓で。
- 伊藤委員 作業ですよ、作業。レイアウトしながら。それせんと、やっぱり言葉だけで言っとったってね。
- 吉岡委員 編集委員みたいな。
- 伊藤委員 編集せんとね。
- 吉岡委員 私のイメージでは、伊藤さんがここでイラストレーターを開いてもらって、編集っていうこういうイメージ。
- 西野委員長 そこに業者の方がいて。
- 吉岡委員 ですね。
- 西野委員長 それで、みんなでああだこうだっていうのが、議会だよりについてはそっちのほうで、多分円卓でこうやって手挙げて何々っていうのじゃ、なかなか進まないっていうのが。
- 伊藤委員 そうですね。
- 西野委員長 ここ何回か開催してて思うんですよね。議会だよりについては、ちょっとフラットというか、もうちょっと。
- 伊藤委員 ちょっと時間取ってもらってね、午前中とか。
- 西野委員長 委員会じゃなくて。
- 吉岡委員 作業するっていう。
- 西野委員長 作業する感じで。
- 伊藤委員 だから、何か分科会がいいと思ったんですよね、私。分科会決めといて、あと、入りたい人は入っていくみたいに。
- 吉岡委員 報告会、分科会。
- 伊藤委員 うん、報告会、分科会。
- 吉岡委員 だよりとか。
- 西野委員長 DXチームみたいなもんですよね。

- 門脇委員 そういうことだ、そういう感じ。
- 西野委員長 そんな感じですよ。じゃあ、議会だよりの特別チームみたいのをつくっていったほうが、かしこまっていたら、多分。
- 伊藤委員 そうです、そうです。
- 西野委員長 進まないと思うんだよな。
- 松下事務局長 そうですね、分科会でもいいですし、作業部会とか。
- 伊藤委員 本当ですね。作業部会ね。
- 松下事務局長 要は、ちょっとオフィシャルじゃないところみたいになっていう。
- 伊藤委員 そうですね。
- 西野委員長 そのほうがちょっと。
- 伊藤委員 作業部会を開きますって言って、何人とかじゃなくて、出れる人だけでもいいしね。
- 西野委員長 希望者、DXみたいだね、希望者をどんどん募って行って。そのほうじゃないと、ちょっとなかなかこの形式では。
- 門脇委員 再開していいんじゃないですか。
- 伊藤委員 再開して、じゃあ。
- 西野委員長 じゃあ、再開、何でしたっけ。
- 伊藤委員 日程を。
- 西野委員長 日程でしたね。
- 2月の13、14が候補であります、どちらか都合が悪い方がおられますか。
- 門脇委員 14日がいけませんでした。
- 伊藤委員 13をお願いします。
- 錦織委員 13日の午後。
- 伊藤委員 午後で。午前は委員会で。
- 門脇委員 午前は委員会があります。
- 錦織委員 ああ、そうか。ほな、どっちみち。
- 西野委員長 13のお昼、はい、2月の。岩崎委員何か。
- 岩崎委員 いやいや、ちょっと都合がちょっと。
- 伊藤委員 駄目なんですか。
- 岩崎委員 2月13、僕としては14か15がいいなと思ってたんですけど。
- 伊藤委員 じゃあ、15でもいいですよ。
- 西野委員長 15は大丈夫ですか。
- 錦織委員 15が駄目なの、私。
- 吉岡委員 合わんね。
- 錦織委員 でも、皆さんが。
- 西野委員長 別に。
- 岩崎委員 ほんじゃあ、いっそ16とかは。
- 西野委員長 委員会じゃなくてもいいんですよ、別にね。委員会じゃなくても、それだったら、常任委員会がない時でも。
- 16でもいいですか。

- 岩崎委員 16なら全然いい、全然大丈夫です。
- 西野委員長 16、午後。16、1時で。2月16日、1時。
- 錦織委員 16日、木曜日ね。
- 岩崎委員 了解です。
- 錦織委員 木曜の1時ね。
- 西野委員長 ちょっと、議会だよりのチームをつくるという。
- 岩崎委員 そうですね。
- 西野委員長 流れで。
- 門脇委員 こっち、これだと、どっちがいいです。午前、午後。どっちでもできる。
- 西野委員長 ああ、そうか、どっちでもいけますね。
- 伊藤委員 16、午後って言いなつたよ、今。
- 矢田貝委員 午後がいい。
- 門脇委員 午後がいいですか。
- 西野委員長 はい、分かりました。
- 岩崎委員 たっぷり時間が取れるっていう意味じゃないでしょうか、午後だったら。
- 門脇委員 いや、午前中でも弁当持ってくれば。
- 岩崎委員 13時ね。
- 矢田貝委員 はい、ありがとうございます。
- 岩崎委員 じゃあ、その小部会のほうに。
- 西野委員長 作業部会、やりましょうよ。じゃないと進まないと思います。
- 伊藤委員 いいですか。
- 西野委員長 ですね。
- 岩崎委員 いいですよ。
- 西野委員長 この形式だと、ちょっと議会だよりは難しいかなと。
- 矢田貝委員 次号じゃなくて、これから以降のことについてですよ。
- 西野委員長 ですね、次号はもうQRコードと裏面、それぐらいしかできない。
- 岩崎委員 これも6月に向けてみたいだね、感じで。
- 錦織委員 大体、ホワイトボードがあるとかいうところないかいとか言ったりして。
- 岩崎委員 いいですね。
- 伊藤委員 ホワイトボードは持ち込めますよ。
- 岩崎委員 ホワイトボードがあると、会議がはかどるんですよ、ホワイトボードにちゃっちゃちゃっちゃ書きながらまとめていくんです。
- あと、提案ですけど、その作業部会、どっちに入るかということを決めたらいいんじゃないですか、手挙げして。
- 西野委員長 どっちに入るか。
- 岩崎委員 だから、報告会部会と。
- 錦織委員 報告会はみんなじゃないの。
- 岩崎委員 あれ、そうなの。
- 伊藤委員 違う違う。だから、要綱とか変えていくっていう、でも、それは委員長、副委員長で案をつくるんで。

- 錦織委員** それで、それを提出してもらおうのが16日ちゅう話でしたが。その前にするの。
- 岩崎委員** いやいやいや、分かりました。じゃあ、議会だよりの。
- 西野委員長** そうですね。
- 岩崎委員** 手挙げしてもらってください。
- 西野委員長** ぜひ、全員の委員の方々が参加したいっていう感じにしたいと思いますけども。
- 岩崎委員** さっき言いなるように、センスの問題もありますからね。
- 錦織委員** センスの問題もあるから。
- 岩崎委員** 僕もないから、はっきり言って。ちょっとむずかしいかなと。
- 西野委員長** そうしたら、自由に発言してできますんで、話もしやすいかなと思いつて。
- 岩崎委員** いいですよ。
- 西野委員長** じゃあ、あと。では、議会報告会と中学生議会などについては、私と副委員長で皆様に2月の16日に提示したいと思いますので、よろしくお願ひします。
- ということで、本日は終了でよろしいでしょうか。
- 岩崎委員** いや、まだ。今決めてしまったらいいんじゃない。
- 伊藤委員** 作業部会ね。
- 岩崎委員** 作業部会を決めたら、作業部会どんどん入っていきますから、勝手に。
- 伊藤委員** 16日の例えば午前中とか、午後とか、それが終わってからとか。
- 西野委員長** 作業部会の。
- 伊藤委員** 作業部会。
- 西野委員長** 一発目ってということですか。
- 伊藤委員** 作業部会ね、やっちゃったらいいいんじゃないの。そしたら、ぐんと進むじゃないですか。
- 森田委員** 業者さんの日程等が必要じゃないですかね。
- 西野委員長** そうですね。業者も呼んだほうが。
- 錦織委員** けど、業者って決まってないんでしょう。
- 伊藤委員** だって、今度の業者さんはもうあんまり替えられないから、まだ決まってないので。
- 錦織委員** 6月から。
- 伊藤委員** ここで、こういうふうにしたっていうのを取りあえずまとめといたほうがいいじゃない。
- 錦織委員** 構想を練るのに、次の6月からの分をどういうふうなことを業者さんとも相談しながらやっていこうかみたいな感じ。
- 伊藤委員** 事務局ともね。
- 岩崎委員** いいね。ばしっと横書きなら横書きって決めてもらったらいいいんじゃないの。
- 西野委員長** 矢田貝委員。
- 矢田貝委員** その議会だよりの作業部会の1回目に業者さんは要らんですよね。
- 西野委員長** 要らんです、要らんです。要らんですね、ちょっと。

- 矢田貝委員　なので、取りあえず今の議会だよりの進め方を確認か何かがいいんじゃないでしょうかね。
- 錦織委員　だけん、16日の午前中でもいいんですか。それよりも、もう一回前に担当者を集まってもらっちゃう感じ。
- 伊藤委員　もう一回前にする。
- 吉岡委員　16日の午後の会議に報告ができるほうがいいのかもしいかな。
- 伊藤委員　じゃあ、もっと前に。
- 吉岡委員　午前中にして、そのまま報告でも。
- 西野委員長　皆様がよければ。
- 伊藤委員　じゃあ、全員が出れんでも、閉会中の委員会のどこかでやってしまう。
- 西野委員長　どちらでもいいですよ。16の午前中でも。
- 岩崎委員　それって、全員で話すんですか。
- 錦織委員　だけど、作業部会に誰になるっていうこと。
- 岩崎委員　一部だと思ってますけど。もっとフランクに話しやすいんだったら、三、四人ぐらいまでじゃないですかって話です。
- 門脇委員　この中で分けるんじゃないの。
- 岩崎委員　だから、早々に手挙げしでもしたらどうですかって言って。
- 西野委員長　ああ、そういうことですか。
- 岩崎委員　そういうことです。
- 西野委員長　結局、僕は全員当たり前のように参加すると思っていて。
- 岩崎委員　それだったら、ただの広報広聴委員会になりますから。
- 西野委員長　そういうことですね。
- では、その、何でしたっけ。
- 錦織委員　立候補してもらったら。
- 伊藤委員　議会だよりの作業部会。作業部会。
- 西野委員長　議会だよりの作業部会、入会したい方。
- 伊藤委員　入会します。
- 西野委員長　伊藤委員、吉岡委員と、森田委員。
- 岩崎委員　門脇さん、手挙げりました。
- 門脇委員　センスがある。
- 岩崎委員　すごいな。
- 門脇委員　これは自分で決めるもんじゃないけど。
- 岩崎委員　川柳の先生ですからね。
- 西野委員長　吉岡委員、森田委員、伊藤委員、門脇委員。
- 錦織委員　じゃあ、老若男女ということで。
- 岩崎委員　いいメンバーです。
- 門脇委員　待って、待って、老はないよ。
- 西野委員長　矢田貝委員はいいですか。
- 矢田貝委員　センスない。
- 西野委員長　いいですか。

- 岩崎委員 いいメンバーです。
- 矢田貝委員 4人ですね。
- 西野委員長 4人ですね。では、この4名の方が16日の午前中。
- 錦織委員 あとはこのメンバーで。
- 西野委員長 そのメンバーで決めてもらえばいい。
- 錦織委員 ベストメンバーで。
- 西野委員長 はい。では。
- 伊藤委員 じゃあ、あとのメンバーは、議会報告会の、要綱は案をつくりましますけれども、それをやっぱり粛々と進めていただく、何かやり方だとか、具体的に、そうしたらどうですか。
- 矢田貝委員 16までに、もし今の4人以外で集まるって言われたら、それもありませんか。16にお二人におんぶに抱っこになるから、それまでから絡んでもいいんじゃないですか。もし、これで分けるっていうんだったら。
- 伊藤委員 分かりました。御案内しましょう。
- 西野委員長 はい。じゃあ。
- 岩崎委員 あとは、その議会だよりの写真をどうするかということ、まだ決まってないんですよね。ここでもう決めちゃおうよっていう話だったんですが。
- 伊藤委員 写真は。
- 岩崎委員 どうするの。
- 伊藤委員 今度のはやめましょうって。
- 岩崎委員 だから。
- 門脇委員 写真は、次のは決まりました。
- 錦織委員 募集はしない。
- 伊藤委員 募集しない。
- 岩崎委員 じゃあ、そのこともコメントも出すってということですか。
- 伊藤委員 うん。
- 岩崎委員 それ以後は、今後決める。
- 伊藤委員 あの、ほら。
- 門脇委員 高校の写真部とか。
- 伊藤委員 高校の写真。
- 門脇委員 正式には決まってないかもしれないけど。
- 岩崎委員 まだ決まってないでしょう。
- 西野委員長 高校の写真部の。
- 岩崎委員 そっちの方向に行くんですか。いや、僕は僕の意見があって、全員汗かこうよと。
- 伊藤委員 じゃあ、いいですよ。
- 岩崎委員 絶対、我々がやらないと納得いかないし、高校生に委託したって、もし納得いかんかったらどうするのよっていう話ですよ。迷惑かけるだけだもんね。だったら、僕らも汗かいて、いろんなイベントにどんどん顔を出して、ばしばし撮ってきて、それでどうだと。

- 西野委員長 タスキ作りましょう。
- 岩崎委員 いや、この広報広聴委員会の、このね。
- 西野委員長 ですね、腕章をつけて。
- 岩崎委員 腕章か何かつけて。
- 西野委員長 ええじゃないですか、腕章つけて。
- 岩崎委員 ていうぐらいの勢いでやらんといけません。
- 伊藤委員 分かりました。
- 岩崎委員 と思ってはいるんだけど、どうですかという話です。
- 西野委員長 岩崎委員から熱い御意見がありましたけど、そういう形で写真のほうは進めていってよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

- 岩崎委員 実際、この間も3つの写真ね、結構みんなばあっと委員の人から募って、いい写真がぽんぽんと出ましたもんね。
- 西野委員長 そうですね、これが今度、人の動きが出る写真になるんで、もっと面白い写真が出るかなと。
- 伊藤委員 分かりました。
- 錦織委員 自分の孫ばかりするのはやめてください。
- 西野委員長 まあ、でも、それも全然ありますからね、それも。
- 岩崎委員 あと、やっぱり人物写すんだったら、著作権の問題があると思うので、その人にしっかりと、その人が責任持って了解取らないけませんからね。
- 西野委員長 もちろん、それは。
- 岩崎委員 子どもの顔なんか出してもいいのっていう話にもなるし。
- 西野委員長 そうですね。
- 門脇委員 岩崎委員、これもセンスがいらいます。
- 岩崎委員 写真なら任せてください。(笑声)
- 西野委員長 矢田貝委員、高校生の写真の部活とかっていう意見がありましたが、岩崎委員の意見でよろしいでしょうか。
- 矢田貝委員 いいですよ。
- 西野委員長 はい。ということで、議会だよりの表紙は。
- 岩崎委員 汗かきましようや。
- 西野委員長 汗かくと、議員が。みんなでいい写真を撮り合って、その中から選ぶという。
- 岩崎委員 けなし合う。
- 矢田貝委員 それって、スマホで撮った写真でいいんですか。
- 門脇委員 大丈夫です。
- 矢田貝委員 全然大丈夫、スマホで。
- 西野委員長 とにかく、その人物の方に許可を得て、顔出しを。
- 岩崎委員 そりゃそうだ、責任を持って。
- 伊藤委員 でも、例えば私が高校で写真部の方に、この写真をちょっと載せていいですかって言って。

- 岩崎委員 それはあります。それは大いにあります。
- 伊藤委員 それはオーケーでしょう。
- 門脇委員 お断りを入れてね、必ずね。
- 岩崎委員 前回の上段の写真も、僕じゃないんですけど、ちゃんと了解をいただいて、いいですか、本当にこれいいですか。
- 伊藤委員 だから、いい写真を自分で撮るのもいいし、見つけてくるのもいいし。
- 岩崎委員 その代わりに、責任持って、1人ワンショットは絶対に出そうやっという話ですね。
- 西野委員長 そうですね。
- 岩崎委員 ワンショット以上。それぐらいしないとやっぱり駄目でしょう。
- 西野委員長 そうすれば、自然といい議会だよりが、内容がよくなると思います。
- 岩崎委員 そう思いますよ。
- 伊藤委員 分かりました。
- 西野委員長 表紙については、そういうことで決まりましたので。  
ほかに何かございますか。

〔「なし」と声あり〕

- 西野委員長 では、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

**午後2時40分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長           西 野 太 一